

島根県立大学「21世紀・地球講座」平成20年度春学期 開講科目

講座1 「中山間地域からのメッセージ」

少子高齢化、集落消滅の危機など、とかくマイナスイメージで捉えられがちな中山間地域。だが、このままで終わってよいのか。格闘する中山間地域の取り組みを島根の地から発信する。

No.	講師名	科目名	概要	開講日	時間
1	藤山 浩 (中山間地域研究センター)	田舎の限界、都市の限界、 そして新たな可能性	中山間地域では、これまで地域運営の基本単位であった集落の小規模・高齢化が進み、新しい地域運営と資源活用の枠組みづくりが求められています。一方、都市でも、海外からの食糧や資源の大量輸入に頼った暮らしの限界が見えてきました。この2つの限界を結びつけて、乗り越える可能性を探ります。	5月21日(水)	18:20~19:50
2	藤原真砂	中山間地域における交通問題 —実態調査と生活時間分析から—	通院や買い物などに利用可能な、利便性が高く安価な公共交通サービスの構築は、地域活性化の鍵の一つである。交通弱者の実態とその交通ニーズを、島根県立大学、浜田商工会議所、浜田市、島根県の連繋調査の結果や生活時間調査データを元に紹介し、あらたな交通の仕組みを考えます。	6月4日(水)	18:20~19:50
3	松田善臣	中山間地域における デマンドバスシステムの可能性	採算性の悪化から路線バスを維持することが困難な中山間地域において、地域の公共交通を維持するためにはどうすればよいのか。その解決の糸口として注目を集めているデマンドバスシステムの構築について考えます。	6月11日(水)	18:20~19:50
4	野村泰弘 (島根大学)	不在村放置林問題 —入会権の視点から—	現在、中山間地域においては、不在村所有者の問題および放置竹林の問題が緊急に対策を講じるべき問題として認識されている。これについて私は、入会権研究の立場から、不在村所有者は林野の土地所有権を地域に譲渡または寄付し、あるいは、少なくとも放置による弊害を除去するための間伐等の施策について同意すべきだと考えている。また、これらのためには同時に資金が必要となるが、これらは環境税等の新設や山林への課税の見直しによってまかなうべきではないだろうか。これらの点について易しくお話しします。	6月18日(水)	18:20~19:50
5	山下一也 (出雲キャンパス)	島根県の中山間地域に居住する 高齢者の健康維持	2005年より「物忘れと栄養、脂肪酸分析に関する研究」検診を島根県の2ヵ所で行っています。その結果をもとに、今回、高齢者の血圧、物忘れ、仰うつ、食事栄養についてそれぞれの関連性や特徴を解説し、いきいきとした老後を送るための健康維持の方法をお話しします。	6月21日(土)	13:50~15:20
6	田中恭子	循環型資源活用モデルを目指した 学生による販路開拓 —弥栄ショップの取り組み—	弥栄の野菜にはじまりその他豊かな自然の恩恵等を商品販売という枠を越え「弥栄自体の営業」という郷の魅力そのものを伝えることを目標に、県立大学里山レンジャーの学生が、地域貢献と資源循環を目指し「弥栄ショップ」の活動を開始しました。ショップ開店までの経過と今回の地域貢献活動の取り組みについて紹介します。	6月25日(水)	18:20~19:50

講座2 「石見から乗り出す異文化の大海」

島根県立大学には外国の文化や社会を研究している教員が多くいる。世界の国々から見た日本、日本から眺めた世界の様々な文化を紹介する。

7	赤坂一念	国際政治を見る眼	情報が氾濫する今日、日々変化する国際情勢をどう理解したら良いのか、そのノウハウを解説します。いくつかのキーワードを組み合わせて国際政治を見ることで、いままで見えてこなかった国際政治の流れが見えるようになります。	5月24日(土)	13:50~15:20
8	坂部晶子	中国における戦争博物館の展示	中国東北地域における戦争・植民地期の博物館展示の調査をとおして、中国東北社会で「満洲国」期・戦争期の歴史がどのように理解されてきたのか、その概略と解釈そのものの変遷を理解したいと思います。	6月7日(土)	13:50~15:20
9	佐藤 壮	「わたしは忘れない」 —カナダにおけるケベック人のアイデンティティ—	フランス語を母語とする人々が80%を超えるカナダのケベック州では、すべての車のナンバープレートに「Je me souviens (わたしは忘れない)」という文字がフランス語で刻印されています。いったい何を忘れないのでしょうか？「わたし」とは誰を指すのでしょうか？ケベック人とは何者か、そのアイデンティティの様々なあり様を紹介します。	6月14日(土)	13:50~15:20
10	大前 太	インドの教育事情	近年、インドは中国に続くアジアの新興経済勢力として脚光を浴びているが、石油などの資源に乏しいインドの国力の源泉は人材にある。昨年インドは独立60周年を迎え、イギリスのBBCがインドの特集番組を幾つか放送した。その中に西インドの中核都市ブネー(人口約400万人)の高校生を取材した番組がある。今回の講座では、この番組を利用しながら、インドの教育現場における競争の実態、カーストの問題などについて紹介します。	6月28日(土)	13:50~15:20
11	竹森徹士 (松江キャンパス)	日本から見たアメリカ アメリカから見た日本	太平洋をはさんで向かいあっている国、日本とアメリカ。私たち日本人から見てアメリカはどんな国に見えるでしょうか。またアメリカ人にとって日本はどう映っているでしょうか。日米両国の相違について、身近なところから考えていきたいと思います。	7月5日(土)	13:50~15:20
12	ショーン・ホワイト	小学校英語教育について	日本における小学校英語教育の概念とねらい、新しい学習指導要領下での外国語活動の取り組み、島根県及び浜田市の公立学校での実践状況を紹介いたします。	7月9日(水)	18:20~19:50

※講師、講義内容を一部変更する場合がございます。

21世紀・地球講座 申込要項

申込資格／学生・社会人を問わずどなたでも結構です。
 会場／島根県立大学 講義・研究棟1階 中講義室5
 受講料／無料
 申込方法／官製はがき、FAXまたは電子メールにて、科目No.・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号を記入してお申し込みください。なお、受講通知は出しませんので、当日、直接会場にお越しください。
 定員／特に設けません。

島根県立大学では「地域と共に歩む大学」を目指しています。
 公開講座の開催をとおして学術研究・教育の成果を分かりやすく、地域の皆様にお伝えし、生き生きとした地域を共に創り出したいと考えています。